告



2021





- ◇通知・案内事項
- ○令和3年度化学工学会 教育賞 新設および賞候補者の推薦について ・・・・・・・・・・本号4ページ
- ◇本部・支部大会行事の開催予定

(2021) 9/22~24(岡山大学)

◇年会 ◇秋季大会 ◇支部大会

◇学生発表会(東地区) (西地区)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行事	申込締切	会 告ページ
4月 April			
10	第10回「しごとの常識」塾 〜上級編①有事と平時のしごと〜(オンライン)	4月7日(水)	本号4
14	オンライン版「化学プラントの装置材料技術」講座(4/14, 4/21, 4/28, 5/12, 5/19) (オンライン)		本号6
30	令和3年度化学工学会東北支部特別講演会(オンライン)	4月16日(金)	本号13
5月 May			
18	第1回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「触媒化学者・技術者のための実践基礎講習」 (オンライン)		3号9
18	オンライン版「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(5/18, 5/25, 6/1) (オンライン)	5月11日(火)	本号8
20~21	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	5月12日(水)	本号9
22	第11回「しごとの常識」塾 〜上級編②リーダーシップとフォローワーシップ〜 (オンライン)	5月19日(水)	本号4
26	オンライン版「反応器の設計」講座(5/26, 6/2, 6/9, 6/16)(オンライン)	5月19日(水)	本号9
6月 June			
1~2	第27回化学安全講習会(大阪府)	5月13日(木)	本号1
3~4	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	5月26日(水)	本号1
7	オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(6/7, 6/8, 6/14, 6/15) (オンライン)	5月31日(月)	本号7
11	オンライン版「プロセス制御の理論と応用」講座(オンライン)	6月4日(金)	本号1
14~16	第45回基礎化学工学演習講座(第1クール)(オンライン)	5月31日(月)	本号1
21	オンライン版「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編【座学】(オンライン)	6月14日(月)	本号8
23~25	「P&IDの作り方」講座(東京都)	6月15日(火)	本号1
26	第12回「しごとの常識」塾 〜上級編③リソース(ヒト・モノ・カネ・知識・行動様式)〜(オンライン)	6月23日(水)	本号5
30	「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算 編(6/30~7/2)(東京都)	6月22日(火)	本号7
7月 July			
1~2	化学工学会秋田大会(秋田県またはオンライン)	4月30日(金)	本号1
1~2	第45回基礎化学工学演習講座(第2クール)(オンライン)	6月18日(金)	本号1
3	第58回化学関連支部合同九州大会(福岡県)	4月9日(金)	3号10
5~7	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	6月25日(金)	本号1
12	オンライン版「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(7/12, 7/19)(オンライン)	7月5日(月)	本号1

第 85 巻 第 4 号 (2021) 会告 1

13	「仕様書の書き方 〜要求を正しく伝えるために〜」講座(東京都)	7月5日(月)	本号12			
8月 August						
27	オンライン版「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(8/27, 9/3)(オンライン)	8月20日(金)	本号13			
9月 September						
22~24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)					
10月 October						
2~3	令和3年度化学系学協会東北大会(福島県)	8月27日(金)	本号14			

◇国際交流行事

会期	行 事 名	申込締切	会告ページ
7月19~23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議 2021 (PSE 2021) (京都府)		6号8
9月12~17日	24th nternational Conference on Chemical Reactor(CHEMEREACTOR-24) (Milan, Italy)		
12月5~8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Rugineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年6月19~23日 (日~木)	11th World Congress of Chemical Engineering-WCCE11 (Buenos Aires, Argentina)		
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「**ゴシック**」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第38回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究 大会(東京都)	4月13~14日 (火~水)	日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp http://www.jaca-1963.or.jp/
第173回講演会「5G 用電子部材の動向」(オンライン)	4月15日(木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第31回国際P2M学会 2021年度春季研究発表大会 (オンライン)	4月18日(日)	国際P2M学会	http://www.jap2m.org/regist_p2moffice. html
第172回講演会 「次世代自動車(EV, 燃料電池)の新たな兆し」〜樹脂化と成形加工技術〜(オンライン)	4月20日(火)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第20回「成形加工実践講座シリーズ(材料編)」 - プラスチック材料と成形加工の基礎を学ぼう - (オンライン)	4月21日(水)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) https://www.jspp.or.jp/
酵素工学研究会 第85回講演会(オンライン)	4月23日(金)	酵素工学研究会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme@adm.kais.kyoto-u.ac.jp http://www.enzyme-eng.com
2021 International Conference in Electronics Packaging (ICEP2021) (オンライン)	5月12~14日 (水~金)	エレクトロニクス 実装学会	icep2021@jiep.or.jp http://www.jiep.or.jp/icep/
第21回マリンバイオテクノロジー学会大会(東京都)	5月15~16日 (土~日)	マリンバイオテク ノロジー学会	mbt2020@m2.tuat.ac.jp http://marinebiotechnology.jp/mbt2020/
塗料講演会「自動車を中心とした塗料・塗装の最新動向」 (東京都)	5月21日(金)	色材協会 関東支部	03-3443-2811 (03-3443-3699) admin@jscm.or.jp
第6回マルチスケール材料力学シンポジウム(オンライン)	5月21日(金), 28日(金)	日本材料学会	jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp

第58回日本伝熱シンポジウム(オンライン)	5月25~27日 (火~木)	日本伝熱学会	http://htsj-conf.org/symp2021/index.
第26回計算工学講演会(福岡県)	5月26~28日 (水~金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) office@jsces.org https://www.jsces.org/koenkai/26/
混相流レクチャーシリーズ 46 『情報科学の混相流への適用』(東京都・オンライン)	6月4日(金)	日本混相流学会	078-803-6119 (078-803-6119) murakawa@mech.kobe-u.ac.jp http://www.jsmf.gr.jp/
第62回粉体入門セミナー I 「粉体とは何だろうか?〜その性質と評価〜」 (オンライン)	6月8~9日(火~水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
第70回粉体技術専門講座〜食品粉体に関わる先端技術〜 (オンライン)	6月16日(水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) senmon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS- Form/form.cgi?Code=senmon1
第32回年次大会 『成形加工イノベーション〜新たな産業と技術革新の基盤 のために〜』(東京都・オンライン)	6月16~17日 (水~木)	プラスチック成形 加工学会	annual2021@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第63回粉体入門セミナー II 「粉をつくり,そして利用するために」(オンライン)	6月22~23日 (火~水)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS- Form/form.cgi?Code=nyumon
スケジューリング国際・シンポジウム 2021 (オンライン)	6月25~27日 (金~日)	スケジューリング 学会	052-832-3295 (052-832-3279) office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/iss/2021/
第10回JACI/GSCシンポジウム(オンライン)	6月28~29日 (月~火)	新化学技術推進協 会(JACI)	03-6272-6880 (03-5211-5920) Jacigsc10@jaci-gsc.com http://www.jaci.or.jp
第241回西山記念技術講座 「先端鉄鋼製精錬プロセス技術における基礎と実践研究」 (オンライン)	6月30日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event 2021/20210630.html
第64回粉体入門セミナーⅢ「粉をあやつる」(オンライン)	7月7~8日(水~木)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS- Form/form.cgi?Code=nyumon
No.21-14「第31 回環境工学総合シンポジウム 2021」 (オンライン)	7月8~9日(木~金)	日本機械学会	03-5360-3505 (03-5360-3509) hashiguchi@jsme.or.jp https://confit.atlas.jp/env21
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2021 (大阪府)	7月14~16日 (水~金)	日本プラントメン テナンス協会,日 本能率協会	03-3434-1988 mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/osaka/ index.html
第30回日本エネルギー学会大会(富山県)	8月4~5日(水~木)	日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai30happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/767/
第58回粉体に関する討論会(北海道)	9月6~8日 (月~水)	第58回粉体に関す る討論会	0143-46-5747 (0143-46-5701) syama@mmm.muroran-it.ac.jp http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/

第 85 巻 第 4 号 (2021) 会告 3

2021年度工学教育研究講演会(長野県・オンライン)	9月8~10日 (水~金)	日本工学教育協 会·北陸信越工学 教育協会	O3 31
第8回アジア粉体工学シンポジウム(APT2021)(大阪府)	10月11~14日 (月~木)	APT実行委員会	apt2021@chemeng.osakafu-u.ac.jp https://apt2021.org
The 9th International Symposium on Surface Science(ISSS-9)(香川県)	11月28日~ 12月2日(日~木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) isss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/isss9
International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals (C&FC2021) (東京都)	12月6~10日 (月~金)	触媒学会 ファイン ケミカルズ合成触 媒研究会	06-6850-6260 mizugaki@cheng.es.osaka-u.ac.jp
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022) (山梨県)	2022年7月5~8日 (火~金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

令和3年度化学工学会 教育賞 新設および賞候補者の推薦について

令和3年度より、『化学工学会教育賞』が新設されました。他の化学工学会賞と同様に、受賞候補者を 会員各位より、下記募集要項をご留意の上ご推薦いただきたく存じます。

なお,推薦方法の詳細及び推薦書はWebサイト(http://www.scej.org/award/apply.html)をご参照ください。

募集要項

1. 対象となる業績と候補者の資格

本会正会員であって化学工学に関する優れた 教育 (講義, 演習, 実験等) を教育機関, 産業界 あるいは学会で実践している個人もしくは複数 の共同実施者に贈与されます。

- 2. 表彰の件数 5件以内
- 3. 表彰の内容 賞状と記念品

4. 表彰は、令和4年開催の本会表彰式において (3)推薦された候補者は、所定の書式による選考 おこなう。

5. 推薦

- (1) 本会正会員, 或いは, 化学工学系の学科また は大学院専攻を取り纏める責任者(学科長/専 攻長に相当)の推薦による。
- (2) 本会で定めた推薦方法に従い、本人の了解を 得た後、所定の書式による推薦書一式(電子 ファイル) をWebサイト (http://www.scej.org/ award/apply.html) 内の推薦要項に従い、本会宛 てに5月15日までにアップロードして提出し てください。
- 資料一式 (電子ファイル) を Web サイト (http:// www.scej.org/award/apply.html) 内の推薦要項に 示されている手順に従い、6月30日までにアッ プロードしてください。
- 6. 連絡先・問合せ先

公益社団法人化学工学会 表彰委員会担当 TEL: 03-3943-3527

E-mail: soumu@scej.org

人材育成センター

「しごとの常識」塾 のご案内

主催 化学工学会人材育成センター 資格制度委 員会

化学工学会人材育成センターでは,「化学工学 技士」資格者のキャリアアップ、現役力強化を支 援する目的で、プレミアム講座「化学技術者の知 的生産性を追求するプログラム」を実施しており ます(本号会告6ページの図を参照)。

プレミアム講座は,「しごとの常識」塾と特別 教室で構成されており、「しごとの常識」塾では、 キャリアアップのための実務能力を得るための 基本的な知的情報を対話形式で提供します。

対象 「化学工学技士」資格保有者

講習目標 「しごとの常識」塾の入塾者には、基 本編,中堅編,上級編を通して,それぞれ以 下のようなテーマによるディスカッションを 通して,マインドセット涵養の動機を与え, 多様性と外発性が備わった自由な発想ができ る"知的生産性の高い技術者"を目指すことを 促します(心・体・理・知・行のバランスのと れた胆力)。

◆基本編

(1) 感受性; 判断について

(2)チームワーク;作業について

(3)ボトムアップ; 意思決定について

(1)情報としごと;知識について

(2) IT 革命とグローバル化;昭和と平成のしご

(3) 技術革新; 胆力について(市場, 対象, 理 論と経験など)

◆上級編

(1)有事と平時のしごと;組織のしくみ

(2) リーダーシップとフォローワーシップ;立 場と役割

(3) リソース (ヒト・モノ・カネ・知識・行動 様式);組織力,人材育成

第10回[しごとの常識]塾 ~上級編①有事と平時のしごと~

日時 2021年4月10日(土)11:00~15:00 ※対面開催で計画致しましたが、COVID-19の感 染拡大の状況次第では、Microsoft Teams を利 用したオンライン開催に変更させていただき ます。

⇒検討の結果、4/10の開催はオンライン開催に 変更させていただきました。

講座内容

テーマ『有事と平時のしごと』の説明を行った 後に、しごとの常識とテーマ『有事と平時のしご と』について対話により理解を深めていただき、 テーマ『有事と平時のしごと』と知的生産性(アイ デア産出性)の関係を理解していただきます。

詳細: https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/ scej/799

講師 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取 締役専務執行役員, 化学工学会名誉会員)

募集定員 6名(定員になり次第締切)

申込締切 4月7日(水)

参加費・申込方法・問い合わせ先 末尾をご参 照下さい。

第11回「しごとの常識」塾

~上級編②リーダーシップとフォローワーシッ プ~

日時 2021年5月22日(土)11:00~15:00

※対面開催で計画致しましたが、COVID-19の感 染拡大の状況次第では Microsoft Teams を利 用したオンライン開催に変更させていただき

⇒検討の結果、5/22の開催はオンライン開催に 変更させていただきました。

講座内容

テーマ『リーダーシップとフォローワーシッ プ』の説明を行った後に、しごとの常識とテーマ 『リーダーシップとフォローワーシップ』につい て対話により理解を深めていただき、テーマ 『リーダーシップとフォローワーシップ』と知的 生産性(アイデア産出性)の関係を理解していた だきます。

詳細:https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/ scei/800

講師 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取 締役専務執行役員, 化学工学会名誉会員)

募集定員 6名(定員になり次第締切)

申込締切 5月19日(水)

参加費・申込方法・問い合わせ先 末尾をご参 照下さい。

第12回「しごとの常識」塾

~上級編③リソース (ヒト・モノ・カネ・知識・ 行動様式)~

日時 2021年6月26日(土)11:00~15:00

※対面開催で計画致しましたが、COVID-19の感 染拡大の状況次第では、Microsoft Teams を利 用したオンライン開催に変更させていただき ます。

⇒検討の結果、6/26の開催はオンライン開催に 変更させていただきました。

講座内容

テーマ『リソース(ヒト・モノ・カネ・知識・ 行動様式)』の説明を行った後に、しごとの常識 とテーマ『リソース(ヒト・モノ・カネ・知識・ 行動様式)』について対話により理解を深めてい ただき、テーマ『リソース (ヒト・モノ・カネ・ 知識・行動様式)』と知的生産性(アイデア産出 性)の関係を理解していただきます。

詳細:https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/ scei/801

講師 伊藤真一郎氏(住友ベークライト(株)元取

締役専務執行役員, 化学工学会名誉会員)

募集定員 6名(定員になり次第締切)

申込締切 6月23日(水)

参加費・申込方法・問い合わせ先 末尾をご参 昭下さい。

参加費(税込) 初回参加者 4,000 円/回(入 塾料 1,000円含む), 二回目以降は3,000円 /回とします。

申込方法 ブラウザに直接下記URLを入力 していただくか、化学工学会ホームペー ジより「各種申込」⇒「講習会」⇒「参加申 込」と辿っていただき、行事リストからお 由込みください。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会人材育成セン ター 資格制度委員会

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: qualification "アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

化学工学会人材育成センター 継続教育セミナー

2021年度は以下講座を予定しております。最新情報は、http://www.scej.org/でご確認下さい。

- *「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算編 修了証 ★※
- *オンライン版「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計編 ★※
- *オンライン版「プロセス設計」講座 ハイドロ リックの設計編 ★※
- *オンライン版「プロセス設計」講座 プロセス 基本制御とPFD作成編 ★※
- *「プラント計装制御-1」講座 ★※
- *オンライン版「プロセス制御の理論と応用 | 講 座★
- *「P&IDの作り方 |講座 ★
- *オンライン版「反応器の設計」講座 ★※
- 〈調整中〉ガス分離膜・浸透気化膜分離プロセス 及び膜反応器の設計」講座 ★
- *「モデリング技術の基礎と実践」講座
- *「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座 ★
- *「レイアウトとプロットプランの考え方」講座
- *「仕様書の書き方 ~要求を正しく伝えるため に~ ★
- *オンライン版「化学プラントの装置材料技術」 講座 ★
- 〈調整中〉「化学物質の安全・安全実技体験」講座 ******
- *オンライン版「化学プロセスの安全性評価手法 入門」講座 ★

★修了レポート

★印の講座は受講後に「修了レポート」を実施 します。受講者には学習内容を整理する機会と なり、また、派遣企業にも受講生の理解度を測 るためにも有用です。

修了レポートの対象者

レポート実施対象者は、出席基準を満たす受 講者が対象です。

修了レポートの提出

- ・受講3週間後の月曜日までに、指定のURL からレポートをアップロードして頂きます。
- ・期日までに提出頂いたレポートは、講師が 採点します。

- ・期日までに提出されたレポートで、講師が"学 んで欲しいポイントを理解し、一定レベル に達した"とみなした受講者に「修了証」を授 与します。
- ・採点したレポートは解答例とともに返却致 します。見直して理解を深めて下さい。

※化学工学技士(基礎)保有者への受講料割引制 度

※印の講座は、「技士(基礎)応援割引」対象講 座です。

「プロセス設計」講座の『化工物性・蒸留計算』 編, 『塔・槽, 熱交換器の設計』編(オンライン開 催),『ハイドロリックの設計』編(座学はオンラ イン開催),『プロセス基本制御とPFD作成』編(オ ンライン開催)と、「プラント計装制御-1」講座、 「反応器の設計」講座(オンライン開催),「化学物 質の安全・安全実技体験」講座 (開催調整中) の7 講座では、下に示す条件を満たす化学工学技士 (基礎) 資格保有者を対象として, 正会員の半額 で受講できる
技士基礎割を実施します。 〈条件〉

- 1. 化学工学技士(基礎)試験に合格後,資格に 関する手続きを完了していること。
- 2. 正会員であること。(事前に自らの会員情 報を確認し、登録内容を更新して下さい)
- 3. 卒業または修了後5年以内の社会人である こと。

出席基準と受講証明書

全ての講座で出席基準を満たす受講者には, 最終日に受講証明書(2001~2015年は修了証と して授与)を発行します。対面開催時の出席基準 は以下の通りです。

講座開催日数	出席基準
1日以下	全日程の出席
1.5 日	1日以上の出席
2 日	1.5 日以上の出席
2.5 日~3 日	2日以上の出席

但し、オンライン開催の際に半日単位で実施 した場合には半日2回を1日として計算します。

講座開催回数	出席基準
半日×2回以下	全日程の出席
半日×3回	2回以上の出席
半日×4回	3回以上の出席
半日×5または6回	4回以上の出席

継続教育ポイントの計算

- ①化学工学技士(基礎)取得者に対して30 pt付与 します。
- ②対面開催時の出席基準を満たした受講者に, 下表の"継続教育ポイント"を授与します。

(対象は、2001年以降に、人材育成センター継 続教育委員会が主催した全講座です。但し、講 演会は含まれません)

受講した講座の開催日数	継続教育ポイント
0.5~1 日	10 pt
1.5~2 日	20 pt
2.5~3 日	30 pt

但し、オンライン開催時に半日(1日3時間)単 位で実施した場合には半日2回を1日として計算 します。

受講した講座の開催回数	継続教育ポイント
1~2回	10 pt
3~4回	20 pt
5~6回	30 pt

③修了レポートに合格し、修了証を授与された 方には、上記②によるポイントを50%加算し ます。

"継続教育ポイント"による特典

「化学工学技士(基礎)」の取得、または、各講 座の受講と修了レポートによって獲得した"継続 教育ポイント"の合計が100 ptに達した受講者に は、100 pt につき1回、無料で「化学工学技士」試 験を受験できます。(詳細は5号に掲載予定の「化 学工学技士」受験に関するご案内をご確認下さい)

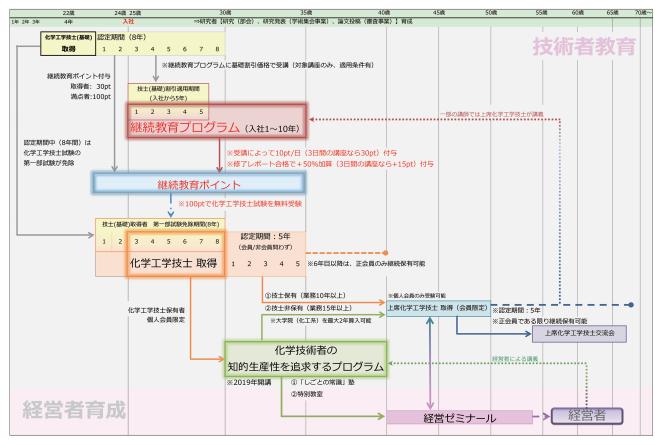


図 資格制度事業及び人材育成事業による『技術者の生涯にわたる継続学習』支援

化学工学会人材育成センターでは,継続教育 と資格制度を両輪として連携させた教育体系に よって, 『技術者の生涯にわたる継続学習』を支 援しております(上図を参照)。

取得した"継続教育ポイント"に関するお問い合 わせ

過去にご自身が取得した"継続教育ポイント は、正会員であれば、過去に取得した"継続教育 ポイント"がマイページに表示されます。個人で 会員になられていない方(例えば、法人会員の社 員)は、同姓同名を判別するために、氏名、ふり がな、会社名、生年月日、E-mailアドレスを必 ず記載の上, jinzai-seminar "アットマーク" scej. orgまでメールでお問い合わせ下さい。マイペー ジに入るためのIDとパスワードをご連絡致しま す。

オンライン版「化学プラントの 装置材料技術 |講座(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委 員会

日時 2021年4月14日 (水), 21日 (水), 28 日(水), 5月12日(水), 【オプション:5 月19日(水)】

対象 以下の何れかに該当される方

- ・複数年以上, 化学プラントの研究, 設計, 運転, 設備管理を担当した経験を有する方
- ・腐食を中心とした装置材料技術に関する基礎 から応用の技術を習得したい方

講習目標 化学プラントの装置材料で発生する 損傷・劣化現象やその制御や抑制方法につい て理解していただき、それらを実際の設計、 運転, 設備管理の段階で活用できるようになっ ていただきます。

化学会社で装置材料に関する課題の検討に 経験を積んだ技術者が、設計や設備管理にお ける材料技術に関して, 事例紹介や演習をま じえつつ解説します。

受講のメリット

- (1) 化学プラントの装置材料における腐食を中心 とする損傷,劣化現象に関する基礎的な知識, 技術を習得することができます。
- (2) 材料技術を用いて、材料損傷や劣化を防止す

- る基本的な設計,機器の製作,運転,診断, 寿命管理等を行うことができるようになりま す。
- (3) 装置材料に発生する損傷及び材質劣化の豊富 な事例について、発生機構、抑制策を、カラー 写真とともに体系的に学べます。
- (4) 本講座では事前アンケート及びオリエンテー ション(4月7日)を実施し、受講者の経験や受 講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (5)修了レポートにより、理解度をさらに深めら れます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラ インで、週1回3時間(目安として、講義60分+ 休憩15分+講義60分+休憩15分+講義60分)の ペースで,4または5回(第5日はオプション講座) にわたり開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にな らないような工夫を凝らして講義してゆく予定 です。なお、以下URLに記した注意事項にご同 意いただけない場合は、ご参加をお断りさせて いただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ jinzai ONLINE.pdf

オリエンテーション:4月7日(水)13:15~(最大 でも14:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当 日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必 須)で参加下さい。

第1日:4月14日(水)13:15~16:45

- 1. 設備のリスク評価
- 2. 装置材料の損傷・劣化と寿命およびその分
- 3. 材料の損傷・劣化および破壊現象 第2日:4月21日(水)13:15~16:45

3. 材料の損傷・劣化および破壊現象

- 4. 金属腐食の基礎

第3日:4月28日(水)13:15~16:45

- 5. 装置材料とその特性
- 6. 防食設計と設計・製作段階での腐食制御
- 7 酸環境での材料選定

第4日:5月12日(水)13:15~16:45

- 8. 設備診断
- 9. 寿命予測

油羽

第5日(オプション):5月19日(水)13:15~16:45 10. 共通的な損傷現象とその抑制策

※オプション(10章)の受講を希望する場合は別 途参加費が加算されます。過去に受講した際 に、10章を受講されていない方は10章のみの 参加も可能ですので、お問い合わせください。

講師 材料技術について経験豊富な技術者

中原正大氏(旭化成(株)製造統括本部 上席研 究員,博士(工学),腐食防食専門士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最 終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま

す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に は20ptを授与致します。また、修了証を授与 された方にはさらに10ptを加算致します。(詳 細は本号会告5ページ参照)

募集定員 20名 ※開催決定

受講料(税別)

個人正会員 40,000 円 + 税 維持会員/特別会員の社員 50,000 円 + 税 地区会員の社員 60,000 円 + 税 会員外 70,000 円 + 税

※オプション (10章) の受講を希望する場合は上 記参加費にプラスして,下記の金額が加算さ れます。

個人正会員【オプション】 + 10,000円+税 維持会員/特別会員の社員【オプション】

+ 12,500円+税 地区会員の社員【オプション】 + 15,000円+税 会員外【オプション】 + 17,500円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"と巡って頂くか、下記 URLをブラウザに直接入力して頂き、該当す る講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar "アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「プロセス設計」講座各編のご案内

プロセス設計の第一歩は、取り扱う化合物の物性を知ることです。

プロセスの構想を決め、基本設計に入ると、まずプロセスの基本である熱物質収支を算出し、PFDを作成するためには、プロセスで取り扱う化合物の基本物性値と熱力学物性値が必要です。次に、機器の主要寸法を算出するサイジングのためには、粘度、熱伝導率などの輸送物性値が必要となります。

「プロセス設計」講座の『化工物性・蒸留計算』編[6月30日(水)~7月1日(木)』では、最初に、物性(基本物性定数、熱力学物性、輸送物性)及び物性推算について理解を深めた後、2成分系、多成分系など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について演習問題を手計算で解きながら学んでいただき、3日目には、希望者を対象としてPRO/Ⅱを用いた蒸留計算演習【7月2日(金)】を実施し、手計算の例題をシミュレータで解くことによって、手計算の精度の確認や、シミュレータの利便性などを知ることを重視して、学んでいただきます。

続いて、『塔・槽、熱交換器の設計』編 [6月7日(月),8日(火),14(月),15日(火)[PM×全4回MS Teams]]では、それぞれ演習を交えながら設計法を学びます。さらには、『ハイドロリックの設計』編[6月21日(月)[MS Teams],22日(火)[準備中]]では、演習に加え、流体流動実習やポンプキャビテーション実習などを交えて理解を深めていただきます。また、『プロセス基本制御とPFD作成』編[5月18日(火),25(火),6月1日(火)[PM×全3回MS Teams]]では、中味流体を取り扱うという視点からプロセス制御を構築していき、さらに流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化していく手法を学んでいただきます。

なお, 下半期の開催経過につきましては, 後

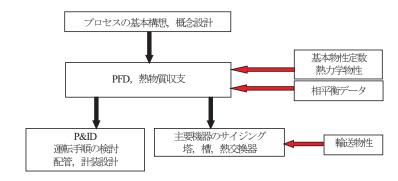


図 プロセス設計と必要な物性値

日, 状況を見ながら公開致します。

◆化工物性, 蒸留計算 編(第25回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年6月30日(水)~7月2日(金) 場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗 荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と 体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。 記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化工物性、蒸留計算の基本を学びたい方
- ・シミュレータの蒸留計算の原理を知りたい 方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある エンジニア(2~10年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講 予定者

受講のメリット

- (1) プロセス設計に使用する化工物性を理解できます。
- (2) 気液平衡について基礎, 非理想系の気液平衡, これらの推算式を理解できます。
- (3) 2成分系の蒸留計算,多成分系の蒸留計算の原理を理解できるようになります。
- (4) 修了レポートにより, 理解度をさらに深められます。
- (5) オプションのシミュレータ演習を併せて受講することで、蒸留計算におけるシミュレータのブラックボックスの中身を理解できます。

講座内容

第1日:6月30日(水)9:55~17:30

諸連絡(9:55~10:00)

- 1. プロセス設計と物性値
- 2. 気液平衡
- 3. 2成分系の蒸留計算

第2日:7月1日(木)9:30~17:00

- 3. 2成分系の蒸留計算(続き)
- 4. 多成分系の蒸留と特殊な蒸留

第3日(オプション):7月2日(金)9:30~17:00

5. シミュレータ(PRO/II)による蒸留計算演習 ※オプションのシミュレータ演習受講者【3日間 コース】には、3日間PCをご用意致します。

※シミュレータ演習を受講されない場合(2日間 コース)は、Excelがインストール済みのPCを 各自ご持参下さい。

講師 経験豊富なエンジニア

澤井直明氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー プロセステクノロ ジー本部 プロセスエンジニアリング第2部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 2日コースの方は受講証明書で20 pt付与、さらに修了証で10 pt加算します。 3日コースの方は受講証明書で30 pt付与、さらに修了証で15 pt加算します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 6月22日(火)

受講料(税別)

(2日間)個人正会員〈技士基礎割*〉

20,000 円 + 税 (2 日間) 個人正会員 40,000 円 + 税

(2日間)維持会員/特別会員の社員

50,000円+税

| S0,000円+税 (2日間)地区会員の社員 | 60,000円+税 (2日間)会員外 | 70,000円+税

【3日間】個人正会員〈技士基礎割*〉

35,000円+税

【3日間】個人正会員 65,000円+税

【3日間】維持会員/特別会員の社員

80,000円+税

【3日間】地区会員の社員 95,000円+税 【3日間】会員外 110,000円+税

*技士基礎割については本号会告5ページをご 参照ください。

◆オンライン版

塔・槽, 熱交換器の設計 編(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委 員会

日時 2021年6月7日 (月), 8日 (火), 14日 (月), 15日(火)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・塔・槽の設計基礎を学びたい方
- ・熱交換器の設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある 初級エンジニア(1~5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講 予定者

受講のメリット

- (1) 蒸留塔の構造, 塔径計算, ドラムのサイジングを学べます。
- (2) 熱交換器設計の基本を学べます。

告

- (3) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション (5月31日) を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。 (4) 修了レポートにより、理解度をさらに深め
- (4) 修了レポートにより, 理解度をさらに深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラインで、週2回(目安として、講義60分+休憩15分+講義60分) のペースで2週間、計4回にわたり開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ jinzai ONLINE.pdf

<u>オリエンテーション</u>:5月31日(月)11:00~(最大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

<u>第1日</u>:6月7日(月)13:00~16:30 7. 塔・槽の設計,設計演習

第2日:6月8日(火)13:00~16:30 7. 塔・槽の設計,設計演習

第3日:6月14日(月)13:00~16:30 8. 熱交換器の設計,設計演習

8. 熱交換器の設計,設計演習 第4日:6月15日(火)13:00~16:30 8. 熱交換器の設計,設計演習

8. 熱交換器の設計,設計便首 ※関数電卓は各自ご用意下さい。

講師 経験豊富なエンジニア

白石 浩氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー プロセス技術部,上 席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また,修了証を授与された方にはさらに10 ptを加算致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 20名 ※開催決定

受講料(税別)

個人正会員**〈技士基礎割*〉** 20,000 円 + 税 個人正会員 40,000 円 + 税 維持会員/特別会員の社員 50,000 円 + 税 地区会員の社員 60,000 円 + 税 会員外 70,000 円 + 税

*技士基礎割については本号会告5ページをご 参照ください。

◆オンライン版 ハイドロリックの設計 編(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年6月21日(月)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・ハイドロリックの設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある 初級エンジニア(1~5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講 予定者

受講のメリット

- (1) ハイドロリックの計算原理, 圧力損失計算, 配管サイズの決め方, ポンプの基礎を 学べます。
- (2) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション (6月14日) を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (3) 修了レポートにより、理解度をさらに深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラインで開催致します(目安として、講義90分+ 休憩15分+講義90分+昼休み60分+講義90分+休憩15分+講義90分)。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ jinzai ONLINE.pdf

<u>オリエンテーション</u>:6月14日(月)11:00~(最大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

第1日:6月21日(月)9:15~16:45

9. ハイドロリックの設計,設計演習

※関数電卓は各自ご用意下さい。

講師 経験豊富なエンジニア

赤間貴朗氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー プロセステクノロ ジー本部プロセス技術部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には10 ptを授与致します。また、修了証を授与された方にはさらに5 ptを加算致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 20名 ※開催決定

申込締切 6月11日(金)

受講料(税別)

個人正会員〈**技士基礎割***〉 個人正会員 維持会員/特別会員の社員 地区会員の社員 会員外 20,000 円+税 25,000 円+税 30,000 円+税 会員外 35,000 円+税

*技士基礎割については本号会告5ページをご 参照ください。

※以下の実習につきましては、実施の有無は 現在調整中です。

9章のオンライン講義を申し込まれた方には、実習の実施が確定した場合には、受付順に受講の希望をご確認致します(参加費は別途)。

受講のメリット

- (4) ベルヌーイ実証実験,流動実験,ポンプキャビテーション実験,水撃実験などの実習で学べます。
- (5) 展示室のポンプ,コンプレッサー,制 御弁,バルブのカットモデルを見学でき、その内部構造を学べます。

第2日:6月22日(火)

10. ハイドロリック実習に先立って

- 11. ハイドロリック実習(9:10~16:15)
 - 11.1 ベルヌーイ実証実験
- 11.2 流動実験
- 11.3 ポンプキャビテーション実験
- 11.4 水撃実験

講師 経験豊富なエンジニア

小山義成氏 (出光興産 (株) 製造技術部技術 研修センター)

鶴島真由美氏 (出光興産 (株) 製造技術部技 術研修センター)

溝口高生氏 (出光興産 (株) 製造技術部技術 研修センター)

場所 出光興産(株)技術研修センター(TEL: 0436-61-7841)

〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸 26 (JR内房線「姉ヶ崎」駅下車徒歩10 分)

◆オンライン版 プロセス基本制御とPFD作成 編 (第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委 員会

日時 2021年5月18日(火), 25日(火), 6月 1日(火)

対象 以下の何れかに該当される方

- ·「P&IDの作り方」講座 受講予定者
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある 初級エンジニア(3~5年程度の経験者)
- ・流体の流れや機器情報と合わせてPFDとして具現化する手法を学びたい方
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講 予定者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講 予定者

受講のメリット

- (1) 化工物性,蒸留計算編,塔・槽,熱交換器の設計編,ハイドロリックの設計編とともに本編を受講することで,プロセス設計の真髄を習得できます。
- (2)「P&IDの作り方」講座を受講する前の事前 学習として有効です。
- (3) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション (5月11日) を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度をさらに深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで、週1回3時間(目安として、講義60分+休憩15分+講義60分+休憩15分+講義60分)のペースで、3週間にわたり開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ jinzai ONLINE.pdf

<u>オリエンテーション</u>:5月11日(火)11:00~(最 大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

- 第1日:5月18日(火)13:00~16:30
 - 12. 蒸留塔周りの制御
- 13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)

第2日:5月25日(火)13:00~16:30

- 13. 各種設備の制御の基本(蒸留塔以外)
- 14. PFD作成実習
- ※実習の際には、シャープペンと消しゴムをご用意下さい。
- ※2日目に実施する [PFD作成実習] での作成物は、翌26日(水)12:00までに scan等をして事務局に提出していただきます。

第3日:6月1日(火)13:00~16:30

- 14. PFD作成実習
- 15. 計装・制御についての補足事項

講師 経験豊富なエンジニア

永野健一郎氏(日揮グローバル(株)オイル&ガ スプロジェクトカンパニー プロセステクノロ ジー本部 プロセス技術部、上席化学工学技 士、技術士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方にはさらに10 ptを加算致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 10名 ※開催決定

受講料(税別)

個人正会員〈**技士基礎割***〉 15,000 円+税 個人正会員 30,000 円+税 維持会員/特別会員の社員 37,500 円+税 地区会員の社員 45,000 円+税 会員外 52,500 円+税

*技士基礎割については本号会告5ページをご 参照ください。

プロセス設計講座各編の申込方法

化学工学会ホームページ右上の"各種申込"の"講習会申込"と巡って頂くか,下記URLをブラウザに直接入力して頂き,該当する講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成セン

「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar "アットマーク" scej. org

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「モデリング技術の基礎と実践」 講座(改定第14回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委 員会

日時 2021年5月20日(木)~21日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 化学工学会会議室で実施する場合には、ソー シャルディスタンスの確保やマスクの着用と 体温測定など、以下URLに記した新型コロナ ウイルス感染症対策を行い、開催致します。 記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

対象 以下の何れかに該当される方

- ・反応や各種単位操作に関連した現象のモデ リング技術を学んで実践に生かしたい方
- ・企業経験3年程度以上の技術系の方

講習目標 プロセス設計, プラント運転にはプロセスシミュレータが広範囲に利用されています。シミュレータをより効果的に活用するには, 基礎工学原理の理解が不可欠です。応用数学とモデリングの基礎を, 手計算, Excel, 方程式解法ソフトを用いながら学び, 実験データからモデルをどう作るかについて, 微分方程式・代数方程式の立て方と解き方を中心にした演習を行い, 化学プロセスで取り扱う現象のモデリングについて実践的な基礎を学ぶ機会を提供します。

受講のメリット

- (1) プロセスシミュレーションモデリング技術 に関する知識とアプローチの理解が深ま り、実践に生かすことができます。
- (2) プロセスデータ・実験データを見た時に、 関連したモデルを作成し、それを用いて考 察する習慣をつけるための第一歩となりま す。

講座内容

第1日:5月20日(木)9:55~17:30

諸連絡(9:55~10:00)

 立式と解法の基本 (EQUATRAN 導入教育含 また)

- 第2日:5月21日(金)9:30~17:00
- 2. 反応操作
- 3. 気液平衡
- 4. (参考)プラントデータの解析
- 5. まとめ

※テキスト改定により、若干内容が変わる可能 性があります。お申込の際にホームページを ご確認下さい。

※関数電卓は各自ご持参下さい。

※演習用PCは当会でご準備致します。

〈用いるソフトウエア〉方程式解法ソフト (EQUATRAN-G for Windows) を開発・販売元で ある(株) オメガシミュレーション社のご好意に より利用できます。

《ソフトウエアに関する受講者の知識》

- 1) Excel: ソルバー機能を使った経験 ※ソルバー機能を使った経験が少ない方は、 「化学工学」2004年7月号pp.382-386を自習 されることをご推奨します。
- 2) 方程式解法ソフト: 不要(冒頭2時間強で, 化 学工学例題を用いて操作方法を説明します)
- 講師 熊谷善夫氏((株) PreFEED, 博士(工学)) 及び, 横山克己氏((株) PreFEED, 博士(工学))
- 受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。
- 継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に は20 ptを授与致します。(詳細は本号会告5ページ参照)
- 募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 5月12日(水)

受講料(税別)

個人正会員 維持会員/特別会員の社員 地区会員の社員 会員外 45,000円+税 55,000円+税 65,000円+税 75,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"と巡って頂くか、下記 URLをブラウザに直接入力して頂き、該当す る講座を選択してお申込み下さい。 https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar"アットマーク"scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

オンライン版 [反応器の設計]講座 (第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年5月26日(水), 6月2日(水), 9 日(水), 16日(水)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化学反応を扱う研究者・技術者
- ・パイロットプラントの設計を行う技術者
- ・プロセス設計技術者(2~5年程度の経験者)

講習目標 気相反応器、液相反応器、流動層反応器の設計、および反応器のスケールアップを行うための基礎知識を習得することを目標とします。特に、反応器周りの熱/物質収支について基本的な考え方を講義し、実験室データから実装置のプロセス設計ができるように、基礎を学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) 既知の熱力学データを基に、気体反応の熱 物質収支を計算できるようになります。
- (2) 実験室データからのスケールアップの考え 方を習得でき、液相反応器の実装置の設計 に役立つ知識を得られます。
- (3)最新の流動層反応器の知識を得られます。
- (4) 本講座では事前アンケート及びオリエン テーション (5月19日) を実施し、受講者の 経験や受講目的などを把握し、講義の参考 と致します。
- (5) 講師がデモで使用する Excel ファイルを差し上げます。
- (6) 修了レポートにより, 理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで、週1回3時間(目安として、講義60分+休憩15分+講義60分)のペースで、4回にわたり開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ jinzai ONLINE.pdf

<u>オリエンテーション</u>:5月19日(水)11:00~(最大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

<u>第1日</u>:5月26日(水)13:00~16:30 兵藤氏

- 1. 反応器概論
- 2. 気体反応器 反応器廻りの熱収支・物質収支計算 –

第2日:6月2日(水)13:00~16:30 兵藤氏

2. 気体反応器 – 反応器廻りの熱収支・物質収支計算 –

第3日:6月9日(水)13:00~16:30 寺井氏

3. 液相反応器の設計

第4日:6月16日(水)13:00~16:30 渡辺氏

4. 流動層反応器の設計

- ※なお、2日目の演習では、Excelのゴールシーク、ソルバー機能を使います。受講の際には Excel を使えるパソコンで受講してください。
- ※ゴールシーク,ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号~2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等で予習してください。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。

講師 経験豊富なエンジニア陣

兵藤伸二氏(千代田化工建設(株)技術本部石油・化学・新エネルギープロセス設計部,上席化学工学技士)

寺井 聡氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング・技術統括本部)

渡辺康広氏 (千代田化工建設 (株) 技術本部 石油・化学・新エネルギープロセス設計部)

- 受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。
- 修了証 本講座では修了レポートを実施しま す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)
- 継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10 ptを加算致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 10名 ※開催決定 受講料(税別)

個人正会員〈**技士基礎割***〉 20,000 円 + 税 個人正会員 40,000 円 + 税 維持会員/特別会員の社員 50,000 円 + 税 地区会員の社員 60,000 円 + 税 会員外 70,000 円 + 税

- *技士基礎割については本号会告5ページをご 参照ください。
- 申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"と巡って頂くか,下記 URLをブラウザに直接入力して頂き,該当す る講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar "アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527. FAX: 03-3943-3530

「レイアウトとプロットプランの 考え方」講座(第24回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年6月3日(木)~4日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗 荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と 体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。 記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

対象 以下の何れかに該当される方

- ・レイアウトやプロットプランを考えなければならない人
- ・プロジェクトエンジニア, 配管エンジニア, プラントエンジニア, プロセスエンジニア などで5~7年の実務経験のある人(ある程 度プラントに関する知識を持っている人)
- 講習目標 レイアウトの基礎概念,考え方とプロットプランの決め方などについて解説し,新規や既存プラントのレイアウトやプロットプランの根底にある考え方を学んでいただき,さらに簡単な演習によって理解を深めていただきます。また,エンジニア会社とユーザーである化学メーカーとの考え方の相違点を理解していただきます。

受講のメリット

- (1) レイアウトとプロットプランの基本的考え 方を学べます。
- (2) レイアウトとプロットプランを決める上で 必要な法律・規格・基準の相互関係を理解 できます。
- (3) レイアウトとプロットプラン作成上のノウハウを取得できます。
- (4) エンジニアリング会社と化学メーカーとの 考え方を理解できます。
- (5) 修了レポートにより, 理解度をさらに深められます。

講座内容

第1日:6月3日(木)9:55~17:00

諸連絡(9:55~10:00)

レイアウト作成のための基礎知識(10:00~12:30&13:30~15:00)

敷地条件, 気象条件, ユーティリティー条件, 工場設備, 付帯設備, レイアウトに関する法律, レイアウトの評価

レイアウト演習(15:00~17:00)

第2日:6月4日(金)9:30~16:30

プロットプラン作成のための基礎知識 (9:30~12:30)

機器配置の基本形態,機器配置の基本思想, プロットプランの必要資料, プロットプラ ン計画時の考慮事項, 水切りから据付まで, プロットプランに関する法的規制

プロットプラン演習(13:30~16:30)

講師 経験豊富なエンジニア陣

浅野健治氏(日本ゼオン(株), 上席化学工学技 十)

木村 修氏(工業化技術・教育支援事務所代表, 元宇部興産(株))

- 受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。
- **修了証** 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は本号会告5ページ参照)
- 継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に は20 ptを授与致します。また、修了証を授与 された方には更に10 ptを加算致します。(詳 細は本号会告5ページ参照)
- 募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 5月26日(水)

受講料(税別)

個人正会員 40,000 円+税 維持会員/特別会員の社員 50,000 円+税 地区会員の社員 60,000 円+税 会員外 70,000 円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"と巡っていただくか,下 記URLをブラウザに直接入力していただき, 該当する講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar "アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

オンライン版「プロセス制御の理論と応用」講座(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年6月11日(金)9:30~17:00

対象 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(5~7年程度の経験者)
- ・計装制御技術者(3~5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者/受講 予定者

講習目標 プロセス制御の理論を学習して、PID 制御のチューニング手法に展開していきます。理論を学習する上で必要なダイナミックシミュレーションの知識も習得していただきます。PID制御だけではなく、PID制御を応用したアドバンスト制御についても学習していただきます。

受講のメリット

- (1) PID制御の基礎と最適調整について理解できます。
- (2) ダイナミックモデルを使用した,無駄時間 補償付PID制御,フィードフォワード制御, 非干渉制御を理解できます。
- (3)シミュレータを使った演習【講師デモ】で制御理論への理解が深まります。
- (4) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション(6月4日)を実施し、受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラインで開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

<u>オリエンテーション</u>:6月4日(金)11:00~(最大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

講義:6月11日(全)9:30~17:00

<u>講我</u> ・6月11日(並/9:30~1/:00					
時間(目安)	内容				
9:30 ~ 10:50	1章 PID制御とチューニング-1				
10:50 ~ 11:00	〈休憩〉				
11:00 ~ 12:00	1章 PID制御とチューニング-2				
12:00 ~ 13:00	〈昼休み〉				
13:00 ~ 14:10	2章 アドバンスト制御-1				
14:10 ~ 14:20	〈休憩〉				
14:20 ~ 15:20	2章 アドバンスト制御-2				
15:20 ~ 15:30	〈休憩〉				
15:30 ~ 17:00	3章 ダイナミックシミュレー ション及びそれを使用した制御 性確認例				

※受講の際にはExcelを使えるパソコンで受講してください。シミュレータは講師によるデモのみとなりますので、ソフトの準備は不要です。

※ゴールシーク,ソルバー機能を使った経験がない方は、本会「化学工学」誌に連載された「Excelで気軽に化学工学」第1回(2004年7月号pp.382-386)や「Excelで解く化学工学10大モデル」(2014年11月号~2016年1号)、あるいは、「Excelで気軽に化学工学」(化学工学会編・丸善刊)等を参考にしてください。個人会員の方であれば、電子図書館で「化学工学」誌を閲覧することができます。

講師 経験豊富なエンジニア

昆潤一郎氏(元日揮(株)・博士(工学))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に は10 ptを授与致します。また、修了証を授与 された方にはさらに5 ptを加算致します。(詳 細は本号会告5ページ参照)

募集定員 10名※6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受講料(税別)

個人正会員 20,000 円 + 税 維持会員/特別会員の社員 25,000 円 + 税 地区会員の社員 30,000 円 + 税 会員外 35,000 円 + 税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"と巡って頂くか、下記 URLをブラウザに直接入力して頂き、該当す る講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar"アットマーク"scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「P&IDの作り方」講座(第25回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年6月23日(水)~25日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗 荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と 体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。 記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

対象 以下の何れかに該当される方

- ·P&IDを読む、あるいは作成する必要がある 人
- ・プロセス設計技術者、プロジェクトエンジニアなど(3~5年程度の実務経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者

講習目標 P&IDを取り扱う初心者を対象に, P&IDに使用される機器,配管,計装関連の記 号とその意味、配管関係、計装関係、機器周りのP&IDとその作成方法等を、部分から全体へ、事例と実習を活用しながら学習していただきます。さらに、実際のプラントの実例に則してP&IDの作成実習を行います。

受講のメリット

- (1) 複雑に見える P&ID に何が書いてあるかわ かるようになります。
- (2) P&IDに書かれていることの理由を理解で きるようになります。
- (3) PFDからP&IDを書く演習を通して、自分でP&IDを描くことができます。
- (4)P&ID作成のノウハウを習得できます。
- (5) 修了レポートにより, 理解度をさらに深められます。

講座内容

第1日:6月23日(水)9:55~17:00

(9:55~10:00)諸連絡

(10:00~13:00)三枝氏

- 1. P&IDとは
- 2. P&IDの読み方
- 3. 配管関係のP&ID表示

(14:00~17:00)小山氏

- 4. 計装関連のP&ID表示
- 5. 機器まわりのP&ID表示

第2日:6月24日(木)

6. P&ID作成実習 (9:30~17:30) 千馬氏,岡島 氏

蒸留塔を例にとり、PFDからP&IDを作成す る演習

扱う物質が固結性物質とスラリー流体の場合のP&ID作成演習

第3日:6月25日(金)

- 7. P&ID作成実習解説(9:30~12:30)中西氏
- 8. 運転とP&ID(13:30~16:30)佐藤氏

※P&ID作成実習を行いますので、シャープペン と消しゴムをご用意下さい。

講師 千代田化工建設(株),東洋エンジニアリング(株),日揮(株)の経験豊富なエンジニア三枝 悠氏(千代田化工建設(株)技術本部インテグリティマネジメント部P&ID設計セクション 主任)

小山武志氏(日揮グローバル(株)オイル&ガスプロジェクトカンパニー プロセステクノロジー本部 プロセス技術部 グループリー

千馬克己氏 (テックプロジェクトサービス (株)設計統括本部 技師長)

岡島 聡氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング・技術統括本部 次世代技術開拓部) 浅田茂豊氏(千代田化工建設(株)技術本部 インテグリティマネジメント部P&ID設計セクション)

佐藤忠吉氏(日揮グローバル(株)オイル&ガスプロジェクトカンパニー プロジェクトマネジメント本部スタートアップ&オペレーションサービス部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に は30 ptを授与致します。また、修了証を授与 された方にはさらに15 ptを加算致します。(詳 細は本号会告5ページ参照)

募集定員 10名 ※開催決定

受付締切 6月15日(火)

受講料(税別)

個人正会員 60,000円+税 維持会員/特別会員の社員 75,000円+税 地区会員の社員 90,000円+税 会員外 105,000円+税 申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種

申込"の"講習会申込"と巡って頂くか,下記 URLをブラウザに直接入力して頂き,該当す る講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar "アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527, FAX: 03-3943-3530

「プラント計装制御-1」講座 (改訂第14回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年7月5日(月)~7日(水)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗 荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分) 横河電機(株)デモルーム/トレーニング センター

> (JR三鷹駅 (東京駅から中央線特別快速30 分, 快速37分)下車徒歩7分)

〒180-8750 武蔵野市中町2-9-32

http://www.yokogawa.co.jp/cp/corporate/operation/map/cp-info-map-ja.htm

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策

化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

対象 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(2~5年程度の経験者)
- ・計装制御技術者(2~3年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者/受講予 定者

講習目標 若手プロセスエンジニアおよび計装 制御エンジニアが、プロセスプラントのプロセス改造、新設時に知っておくべき、プロセスプラントで求められるプラント計装・制御の基礎を学んでいただきます。また、今後プロセスプラントの中堅エンジニアとして活躍するために必要なプラント計装・制御の基礎技術を再整理していただきます。

受講のメリット

- (1)プラント制御・計装の基本を理解できます。
- (2) 計装設計の基本,制御方式選定の基礎を習得できます。
- (3) 横河電機殿のご協力により、デモルームに てDCSによる制御動作と現場機器の動作の 関連性を、トレーニングセンターにてDCS を使った制御操作実習を体験できます。
- (4)講義と実習により、DCSと安全計装への理解が深まります。
- (5) 最新のプラント情報システムについて学べます。
- (6) 修了レポートにより、理解度をさらに深められます。

講座内容

第1日:7月5日(月)9:55~17:00 於:化学工学 会会議室

諸連絡(9.55~10.00)

- 1. プラント計装制御概論(10:00~11:25 駒 村氏)
- 2. DCSの機能と設計(11:35~13:00 駒村氏)

- 3. プロセス計測操作端(14:00~17:00 赤城氏) 計装システムの構成、流量、液面計測器、 温度・圧力計測器、分析計、調節弁
- 第2日:7月6日(火)9:00~16:00 於:横河電機 デモルーム/トレーニングセンター
- 4. デモルームでのDCSの操作の概要とDCS による制御動作と現場機器の動作の関連性 (9:00~10:20 松本氏)
- トレーニングセンターでのCENTUMを使った制御操作実習(10:40~16:00 田島氏)
 - (1)バッチ制御
 - (2)連続制御
 - (3)比率制御
 - (4) 定量仕込制御
 - (5)プログラム制御
 - (6)PID制御
- 第3日:7月7日(水)9:30~16:30 於:化学工学 会会議室
 - 6. 安全計装(9:30~10:55 岩崎氏)
 - 7. 標準的なプロセス制御ループ事例 (11:05~12:30&13:30~14:25 小瀧氏)
 - 8. プラント情報システム (14:35~16:30 平 井氏)

講師 経験豊富なエンジニア

駒村康弘氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー デザインエンジニア リング本部 計装制御部)

赤城範方氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー デザインエンジニア リング本部 計装制御部)

秦 彰宏氏(横河ソリューションサービス (株)海外・プラント本部 技術部 1Gr)

田島保之氏 (横河ソリューションサービス (株)トレーニングセンター)

岩崎 陽氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー デザインエンジニア リング本部 計装制御部)

小瀧喜明氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー プロセステクノロ ジー本部プロセス技術部 部長)

平井隆詞氏(日揮グローバル(株)オイル&ガス プロジェクトカンパニー プロジェクトマネジ メント本部 ITマネジメント部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に は30 ptを授与致します。また、修了証を授与 された方には更に15 ptを加算致します。(詳 細は本号会告5ページ参照)

募集定員 8名(定員になり次第締切)6名に達し ない場合は、開催中止となることがございま す。

受付締切 6月25日(金)

受講料(税別)

個人正会員**〈技士基礎割*〉** 40,000 円 + 税 個人正会員 60,000 円 + 税 維持会員/特別会員の社員 75,000 円 + 税 地区会員の社員 90,000 円 + 税 会員外 105,000 円 + 税

- *技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象 となります。
 - 1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを 完了していること。
 - 2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
 - 3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。
- 申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"よりお申し込み下さい。 問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター

「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar"アットマーク"scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

オンライン版「化学プロセスの 安全性評価手法入門」講座(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委 員会

日時 2021年7月12日(月), 19日(月)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化学プロセスの安全について学びたい技術 者,研究者
- ・製造業におけるプラント設備設計・運転管 理技術者(1~5年程度の経験者)

講習目標 化学プロセスを安全に設計するためには、安全管理システムを構築し、実行する必要があります。そこで、システムに潜在する本質的な危険を見極め、その潜在危険を顕著化させないための合理的な安全対策を検証していただくために、HAZOP、故障モード影響解析(FMEA)、フォールトツリー解析(FTA)、イベントツリー解析(ETA)、災害影響解析の基礎を【実習】を通じて、理解していただきます。

受講のメリット

- (1) 化学プロセスの安全のための安全性評価手法として、HAZOP、FMEA、FTA、ETA、 災害影響解析の基礎を学べます。
- (2) 演習を通じて、HAZOPにおける解析の視点、潜在危険の洗い出しを理解できます。
- (3) 本講座では事前アンケート及びオリエン テーション(7月5日)を実施し、受講者の経 験や受講目的などを把握し、講義の参考と 致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度をさらに深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teamsを利用したオンラインで、週1日、計2回にわたり開催致します。オンライン開催になりますが、一方通行にならないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ jinzai ONLINE.pdf

<u>オリエンテーション</u>:7月5日(月)11:00~(最大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。

第1日:7月12日(月)9:00~17:00 高木氏

時間(目安) 内容 9:00~10:15 プロセス安全管理概論-1[講義] 10:15~10:25 〈休憩〉 10:25~11:15 プロセス安全管理概論-2[講義] 演習-1【プロセス安全管理】及	
10:15~10:25 〈休憩〉 10:25~11:15 プロセス安全管理概論-2[講義]	
10:25~11:15 プロセス安全管理概論-2[講義]]
21-2	
]
11:15~12:00 (日 -1 1) 日 七八女王自建 次	び
解説	
12:00~13:00 〈昼休み〉	
13:00~14:30 HAZOP[講義]	
14:30~14:40 〈休憩〉	
14:40~15:40 演習-2【HAZOP演習-1】及び解詞	兑
15:40~15:50 〈休憩〉	
15:50~16:50 演習-3【HAZOP演習-2】及び解詞	兑

第2日:7月19日(月)9:00~17:15 角田氏

<u> </u>	л (/1/9.00 1/.13 Ашх	
時間(目安)	内容	
9:00 ~ 10:00	化学プラントの安全性評価概論 -1[講義]	
10:00 ~ 10:10	〈休憩〉	
10:10 ~ 10:40	化学プラントの安全性評価概論 -2[講義]	
10:40 ~ 10:55	演習-4【FMEA演習】	
10:55 ~ 11:15	〈休憩[演習提出]〉	
11:15 ~ 11:30	演習-4 解説	
11:30 ~ 12:15	フォールトツリー解析(FTA)-1 [講義]	
12:15 ~ 13:15	〈昼休み〉	
13:15 ~ 14:00	フォールトツリー解析(FTA)-2 [講義]	
14:00 ~ 14:15	演習-5【FTA演習】	
14:15 ~ 14:35	〈休憩[演習提出]〉	
14:35 ~ 14:50	演習-5 解説	
14:50 ~ 15:50	事故影響解析手法-1[講義]	
15:50~16:00	〈休憩〉	
16:00 ~ 16:45	事故影響解析手法-2[講義]	
16:45 ~ 17:15	演習-6【事故影響解析手法(概論)】及び解説	

※2日目の演習4と5では、演習直後の休憩時間 に scan 等をして作成物を事務局に提出してい ただきます。

講師 安全分野で経験豊富なエンジニア 高木伸夫氏(システム安全研究所)

角田 浩氏((元)東洋エンジニアリング(株), 上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま す。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方にはさらに10 ptを加算致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 10名※6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受講料(税別)

個人正会員 40,000円+税 維持会員/特別会員の社員 50,000円+税 地区会員の社員 60,000円+税 会員外 70,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"と巡って頂くか、下記 URLをブラウザに直接入力して頂き、該当す る講座を選択してお申込み下さい。

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/scej/event/ EventList.htm

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar"アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527, FAX: 03-3943-3530

「仕様書の書き方 〜要求を正しく伝えるために〜」 講座(第3回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2021年7月13日(火)9:55~17:00

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗

荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策 化学工学会会議室で実施する場合には、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用と 体温測定など、以下URLに記した新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催致します。 記載内容にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_07_COVID19.pdf

対象 以下に該当される方

化学会社,石油精製会社等でエンジニアリング企業。装置メーカーまたは機器ベンダーなどへの

- ・プラント建設の引き合い・発注業務
- ・プラント関連機器の調達・発注業務

に、未経験または2、3年従事された経験がある方

講習目標 プラントやその関連機器の発注業務は、「仕様書」の書き方ひとつによってプロジェクトの成功度合いに大きな影響を与えます。本講座では「仕様書」の作成にあたって、発注者の意思を受注者へ的確に伝えるようにするにはどのようなことに注意して作成すればよいか指導します。

受講のメリット

- (1)仕様書の位置づけが理解できます。
- (2) 仕様書作成にあたって注意する点を理解できます。
- (3)個々の仕様書(基本設計,機器,配管,電気・ 計装など)の記載内容について理解できます。
- (4)引き渡し時あるいは試運転時の役務区分を理解できます。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

諸連絡(9:55~10:00)

- 1. 仕事の目的と意義(10:00~11:30)
- 2. 仕様書作成にあたって (11:40~12:30&13:30 ~17:00)
 - 2.1 基本注意事項
 - 2.2 カテゴリー別解説
 - 2.2.1 全般事項
 - 2.2.2 個別事項
 - 2.2.3 工事完了時の役務区分

講師 千代田化工建設 (株) のプロジェクトマネージャー

平尾幸朗氏(千代田化工建設(株)国内石油・化 学・ガスプロジェクト部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最 終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に

は10 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に5 ptを加算致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 10名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となることがございます。

受付締切 7月5日(月)

受講料(税別)

個人正会員 維持会員/特別会員の社員 地区会員の社員 会員外 20,000 円 + 税 25,000 円 + 税 30,000 円 + 税 35,000 円 + 税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種申込"の"講習会申込"よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar "アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

オンライン版「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎|講座(第1回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委 目会

日時 2021年8月27日(金), 9月3日(金) 対象 以下の何れかに該当される方

・化学プラントの研究,設計,運転,設備管理などを担当している方(3~5年程度の経験者)

・ポンプ, コンプレッサーを使うエンジニア(3 ~5年程度の経験者)

講習目標 本講座では、ケミカルエンジニアが 知っておくべき回転機械(ポンプ・圧縮機)の 基礎、各種タイプの特徴、選定、トラブル事 例などの応用知識を学んでいただきます。

受講のメリット

- (1)ポンプ・圧縮機の基礎を理解できます。
- (2) タイプの選定方法や応用知識の習得を通して、回転機械適用における注意点を把握できます。
- (3) 本講座では事前アンケート及びオリエンテーション (8月20日) を実施する予定 (調整中)です。実施した場合は受講者の経験や受講目的などを把握し、講義の参考と致します。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

本講座は、Microsoft Teams を利用したオンラインで、週1日、計2回にわたり開催致します。 オンライン開催になりますが、一方通行にな らないような工夫を凝らして講義してゆく予定です。なお、以下URLに記した注意事項にご同意いただけない場合は、ご参加をお断りさせていただきます。

http://scej.kktcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_ SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

<u>オリエンテーション</u>:8月20日(金)11:00~(最大でも12:00)

接続チェックを兼ねて実施します。講義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC必須)で参加下さい。オリエンテーションを実施しない場合は、接続テストのみ実施します。

第1日:8月27日(金)9:30~17:10 酒井氏

- 1. ポンプの基礎
- 2. ポンプの選定と注意点
- 3. 駆動機(電動機,可変速電動機,蒸気タービン)

第2日:9月3日(金)9:30~17:10 江尻氏

- 4. 圧縮機の基礎 (含むファン・ブロワーと真 空ポンプ)
- 5. 遠心圧縮機
- 6. 往復圧縮機
- 7. トラブル写真集

講師 回転機器について経験豊富なエンジニア 陣

暦 酒井功一朗氏(千代田化工建設(株)技術本部 機械設計部 回転機械セクション)

江尻祐二氏 (千代田化工建設 (株) 技術本部 機械設計部 回転機械セクション)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与 致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20 ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は本号会告5ページ参照)

募集定員 20名※6名に達しない場合は、開催 中止となることがございます。

受講料(税別)

個人正会員 40,000 円+税 維持会員/特別会員の社員 50,000 円+税 地区会員の社員 60,000 円+税 会員外 70,000 円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の"各種 申込"の"講習会申込"よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 E-mail: jinzai-seminar"アットマーク" scej.org TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

地 域 C T



東北支部

令和3年度化学工学会東北支部 特別講演会

主催 化学工学会東北支部 共催 宮城化学工学懇話会

日時 2021年4月30日(金)15:50~18:00

会場 オンライン開催

プログラム

15:50~16:50講演(1)

「省エネ型素材調製プロセスの開発」

秋田大学 名誉教授 菅原勝康氏

16:50~17:00休憩

17:00~18:00講演(2)

「私の研究と教育」 鶴岡工業高等専門学校 校長 高橋幸司氏 参加費 主催·共催団体会員, 学生: 無料, 非 会員:1,000円

申込締切 2021年4月16日(金)

申込方法 参加者のお名前、ご所属、ご連絡先 (E-mail、TEL等)をご記入の上、E-mailにて下 記連絡先までお申し込みください。

申込先 化学工学会東北支部事務局

〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-07 東北大学工学部化学・バイオ工学科内

TEL: 022-712-0887 FAX: 022-712-0887 E-mail: scej-tohoku@che.tohoku.ac.jp

会

告

告

注意事項

※オンライン配信は「Zoom」にて行います。※パソコン・タブレット等, 聴講(受信)に必要な機材や設備は各自でご用意ください。

※講演内容の録画・録音は固く禁止いたします。

化学工学会秋田大会 講演および参加募集

主催 化学工学会東北支部

共催 化学工学会関東支部, 化学工学会北海道 支部, 秋田化学工学懇話会

日時 2021年7月1日(木)~2日(金) 会場 オンライン

現地開催が可能な場合は、秋田ビューホテルで行います。

(秋田県秋田市中通2-6-1)

講演申込期間 4月1日(木)~30日(金) 講演要旨原稿提出期間 5月1日(土)~30日(日) 事前参加登録期間 5月31日(月)~6月11日(金)

シンポジウム

1. 「ソノプロセス・ソフトケミストリー・特殊 反応場の新展開 |

(オーガナイザー:東北大学 久保正樹氏, 秋田大学 大川浩一氏」)

環境負荷の低減が期待でき、なおかつ従来の方法では得ることが難しい特性を有する材料合成法やより効率が高い反応やプロセス技術に期待が寄せられています。本シンポジウムでは、従来の液相合成、液相反応とは反応メカニズムや反応速度が異なるソノプロセス・ソフトケミストリー・特殊反応場を用いた、物質合成、環境浄化や水処理等への応用やそのメカニズム解明となる基礎的な研究の現状と今後の展開について議論します。幅広い分野から講演を募集します。

2. 「持続的発展のためのエネルギー・環境技術」 (オーガナイザー: 秋田大学 村上賢治氏, 秋 田大学 加藤貴宏氏)

エネルギー資源を輸入に頼ってきた日本では、これまでに高効率な発電や化学原料製造技術が発展してきました。しかしながら、近年、地球規模の環境問題の観点から、エネルギー資源、特に炭素資源の利用について制約が大きくなってきています。人類が持続的に発展していくためには、地球上に豊富に存在する石炭やバイオマスなどの炭素資源を上手く利用し、かつCO2や有害成分の排出量をできるだけ削減しなければなりません。本シンポジウムでは、炭素資源の高効率な転換技術ならびに最新の有害成分の排出低減技術について広く講演を募集します。

一般講演

口頭発表とし、発表時間は11分、質疑・応答・ 交代4分です。発表時のPCは各自持参ください。 学生賞

学生賞・口頭発表セッションを開催し、学生 会員による優れた発表に対して表彰します。本 大会ではポスター発表は行わず、全て口頭発表 とします。発表時間は8分、質疑・応答・交代7

※申し込み件数が多数の場合には、一次審査 により一般講演へ変更いただく場合があり ます。

特別講演

日時 7月1日(木)(1時間を予定)

題目「産学公の協創で目指す再生可能エネル

ギーの主力エネルギー源化」

講師 菊池康紀氏 東京大学未来ビジョン研 究センター

総括プロジェクト機構「プラチナ社会」総括 寄付講座(代表・兼務)

大学院工学系研究科化学システム工学専攻・ 准教授

The researcher 招待講演

日時 7月1日(木)(50分を予定)

題目「超臨界水を用いた金属酸化物ナノ粒子合成 |

講師 横 哲氏 東北大学材料科学高等研究 所(WPI-AIMR) 助教

2015年 第80年会 学生賞 銀賞受賞

講演申込方法

秋田大会ホームページ内の「講演申込ページ」 に希望分類番号,講演題目,発表者氏名,所属 略称,会員種別,会員番号,講演概要(100字程 度),分類番号,申込者氏名・所属・郵便番号・ 住所,電話番号,FAX番号,電子メールアドレ スなど指定された必要事項を記入してください。

講演要旨原稿

提出方法は年会・秋季大会に準じますが、詳 細は秋田大会ホームページでご確認ください。

事前参加登録

秋田大会ホームページ内の予約参加登録ページをご覧の上、個人ごとにお申し込みください。 事前参加登録の参加費の支払いは銀行振込のみとさせていただきます。一度、ご入金いただきますと、理由の如何を問わず返金できませんのでご注意ください。事前登録者には、講演要旨ダウンロード用ホームページアドレスを電子メールでお知らせしますので、講演要旨をダウンロードした上でご参加ください。

大会参加費	事前登録	当日登録
化学工学会正会員	4,000円	5,000円
化学工学会学生会員	2,000円	5,000円
化学工学会法人会員の社 員	4,000円	5,000円
化学工学会部会個人特別 会員	4,000円	5,000円
秋田化学工学懇話会の関 係者	4,000円	5,000円
会員外	8,000円	10,000円

秋田大会ホームページURL

http://www3.scej.org/meeting/thk2020/ 秋田大会問合せ先メールアドレス inquiry-thk2020@www3.scej.org

令和3年度化学系学協会東北大会

主催 日本化学会東北支部

共催 高分子学会東北支部, 日本分析化学会東 北支部, 化学工学会東北支部, 有機合成 化学協会東北支部, 電気化学会東北支部, 日本材料学会東北支部, 繊維学会東北北 海道支部, 無機マテリアル学会北部支部, 分子科学会東北地区, 高等学校文化連盟 全国自然科学専門部, 日本大学

日時 2021年10月2日(土)~3日(日)

会場 日本大学工学部 (〒 963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1)

[アクセス]https://www.ce.nihon-u.ac.jp/

交通〉

- 1. JR 郡山駅から福島交通バス3番ポール「昭和 町経由日本大学」行き「日本大学」下車(約20分)
- 2. JR 安積永盛駅から徒歩15分

3. タクシー JR 郡山駅~日本大学工学部:約 15分

講演

1. 一般講演:ポスター発表

2. 特別講演:日本化学会東北支部の推薦による テーマで3件

3. 招待講演:各学協会からの推薦による現在脚 光を浴びているテーマ

4. 依頼講演: 各学協会からの推薦による研究者 講演

5. 特別企画:化学教育研究協議会東北大会,有機化学コロキウム,高分子コロキウム,物理化学コロキウム

※口頭発表は講演者持参のコンピュータにより プロジェクタを利用

発表申込開始 4月上旬(予定) 参加登録申込開始 4月上旬(予定) 発表申込締切 5月28日(金) 発表予稿原稿締切 8月6日(金) 事前参加登録申込締切 8月27日(金) (オンライン開催に変更の場合、ポスターデータ PDF、ショートプレゼンテーションパワーポインタ等のオンライン開催に必要なデータの締切 9月3日(金)(予定))

発表申込方法 日本化学会東北支部ホームページ (http://tohoku.chemistry.or.jp/) にて案内 (4月上旬頃公開予定)

参加登録費

[事前登録]一般:4,000円 小・中・高教員:2,000 円 大学院生:2,000円 高校生,高専生,学 部生:無料(いずれも予稿集代を含む)

[当日登録]一般:5,000円 小・中・高教員:3,000 円 大学院生:3,000円 高校生,高専生,学 部生:無料(いずれも予稿集代を含む)

懇親会 10月2日(土) 18時より, 郡山ビューホ テルアネックスにて

会費 事前登録:一般6,000円, 学生4,000円 当日登録:一般7,000円, 学生5,000円

事前参加登録申込方法 日本化学会東北支部 ホームページ(http://tohoku.chemistry.or.jp/)に て案内(4月上旬頃公開予定)

問合せ 〒 980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

東北大学多元物質科学研究所 和田研究室内 公益社団法人 日本化学会東北支部事務局(担 当:千葉依巳)

TEL&FAX: 022-224-3883 E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp

HP: http://tohoku.chemistry.or.jp/

※新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催に変更する可能性があります。

変更などの詳細は、日本化学会東北支部ホームページ(http://tohoku.chemistry.or.jp/)にてご確認ください。



東海支部

第45回 基礎化学工学演習講座 (第1,2クール)

主催 (公社)化学工学会東海支部

共催(予定) 静岡化学工学懇話会, 東海化学工業会, (公社)日本分析化学会中部支部, (公社)日本化学会東海支部, (一社)資源·素材学会, (公社)高分子学会東海支部,

(一社)日本原子力学会中部支部,(一社)廃棄物資源循環学会,日本溶剤リサイクル工業会,(一社)日本機械学会東海支部,(一社)日本エネルギー学会,化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会

協賛(予定) 名古屋市工業研究所、(公財)名古 屋産業振興公社、(公社)日本水環境学 会、(一社)電気学会東海支部、(一社)粉 体工学会、(公財)中部科学技術セン ター、(公社)電気化学会東海支部、(公 社)有機合成化学協会東海支部、ISPE日 本本部、日本PDA製薬学会、製剤機械 技術学会、日本金属学会・日本鉄鋼協会 東海支部

日程 第1クール:6月14~16日(月~水) 9:45~17:15(昼食休憩:13:00~14:00) 第2クール:7月1~2日(木~金) 9:15~16:45(昼食休憩:12:30~13:30)

昨今では、AIやIoTなどを踏まえつつスマート化を目指した化学プラント構築の模索が行われておりますが、化学工学の理論との整合性を踏まえて行われる必要があります。また、高純度化を目指すプラント設計やトラブル解決のためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術者の存在は、ますます重要となっています。

本講習会では、受講者のレベルに応じて3つのクールを用意しました。プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機会がなかった初心者の方、さらに専門的な知識を習得したい技術者の方まで、原理や理論の説明に加え、豊富な事例に基づく例題を解きながら学べる機会を提供します。2021年度は、Zoom(またはMicrosoft Teams)を利用したライブ配信により開催します。チャットや音声通話機能を用いて、参加者からの質問を受け付ける予定です。

なお,第3クール以降も,順次開催する予定です。是非聴講をご検討ください。

プログラム

第1クール(基礎)

第1日 6月14日(月) 化学工学基礎・拡散 午前 単位と次元(Ⅱ), 状態方程式(Ⅱ)

名古屋工業大学 名誉教授 多田 豊氏 午後 収支, 拡散, 物質移動, 燃焼計算

日油(株) 押川貴成氏

第2日 6月15日(火) 流動

午前 流体の流れと計測,円管内の流れ,流 体と輸送

名古屋工業大学 岩田修一氏 午後 流体輸送機器の設計と実際

三井化学(株) 秦 裕作氏

第3日 6月16日(水) 伝熱

午前 伝導伝熱, 対流伝熱, 放射伝熱

名古屋大学 窪田光宏氏

午後 熱交換器などの設計と実際

中部電力(株) 中山 浩氏

第2クール(初歩)

第1日 7月1日(木) 化学工学の入門

午前 単位と次元(I), プロセス変数, 状態 方程式(I)

静岡大学 立元雄治氏

午後 物質収支の基礎,複雑なプロセスの物質収支,エネルギーの基礎

静岡大学 前澤昭礼氏

第2日 7月2日(金) 化学工学の入門

午前 反応系のエネルギー収支

静岡大学 福原長寿氏 午後 化学プロセスの基礎, 化学プロセスの 計算

静岡大学 武田和宏氏

対象 第1クール:基礎から応用例を学びたい方。工学部卒、高専卒程度の知識のある方。

物質収支、熱収支、移動論の基礎から実践的な例を学びます。

第2クール:初めて化学工学を学びたい方。 初めてプラント設計、運転に携わる方。高卒 程度の知識がある方。プラントや実験装置で 起こる物質収支、熱収支の基礎を学びます。

定員 第1, 第2クール: 各90名 (いずれも定員 になり次第締切)

(企業向けの講座ですが、学生が受講されても構いません。ただし、定員を超えた際には企業の方を優先させていただきます。申込者数が最少催行者数に到達しない講義については、開催しない場合があります。)

- 会員特典 化学工学会正会員, 学生会員ならび に法人会員会社社員の方は, 本講座の受講者 に限り, 各クールで利用するテキストを特別 販売いたします。
- *第2クールで利用するテキスト: 『基礎化学工 学』(共立出版) 税込3,300円 → 1,500円
- *第1クールで利用するテキスト:『改訂第3版 化学工学』(朝倉出版)税込2,750円→1,000円 テキストをお持ちでない場合は、参加費にテ キスト代を加えてお申し込み下さい。

参加の際の注意

- (注1)関数電卓, 定規を使用する場合がございま すのご用意ください。
- (注2)本講座の配布資料や配信動画は著作物のため、複写・録音・録画・転載・上映・無断公開等を禁止いたします。
- (注3)受講者様の起因による視聴トラブルについては弊会は責任を追えませんのでご理解ください。

参加費(消費税を含む)

	第1クール	第2クール
日 数	3日間	2日間
化学工学会正会員	25,000円	15,000円
化学工学会法人会員 会社社員	30,000円	20,000円
共催・協賛団体会員	35,000円	25,000円
学生会員	10,000円	8,000円
会員外	60,000円	50,000円

【注】第1クールは3日間,第2クールは2日間連続して行われます。

送金方法 現金書留または銀行振込

みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521

コウエキシャダンホウジン カ ガクコウガクカイトウカイ シ ブ 「公益社団法人化学工学会東海支部 |

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

コウエキシャダンホウジン カ ガクコウガクカイトウカイ シ ブ 「公益社団法人化学工学会東海支部 |

申込方法 化学工学会東海支部ホームページに アクセスし、「参加申込フォーム」からお申込 み下さい。

http://scej-tokai.org/

※本講座は、ビデオ会議ツール「Zoom」(または「Microsoft Teams」) ライブ配信となります。推奨環境については、当該ツールをご

参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。ライブ配信に関する注意事項は、別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。

申込締切 第1クール:5月31日(月)

第2クール:6月18日(金)

問合せ先 化学工学会東海支部

〒 466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内http://scej-tokai.org/

TEL: 080-4525-3070

第3クールのご案内

ガス吸収、蒸留、抽出・吸着、粉粒体操作、 固液分離、調湿・乾燥、撹拌・混合、反応工学、 プロセス制御の各講義を1日単位で開講予定で す。開催時期は7~8月の予定です。



第27回化学安全講習会

主催 日本化学会近畿支部 共催 化学工学会関西支部

日時 2021年6月1日(火)~2日(水)

会場 大阪科学技術センター(大阪市西区靭本町 1-8-4)

〈交通〉Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅下車,25番・28番出口を北へ約5分,または同御堂筋線「本町」駅下車,2番出口を西北へ約10分

第1日目・1日(火)10:00~16:00

- 1. 化学物質の発火・爆発危険性について
 - (産総研)松永猛裕氏
- 2. 世界の化学品規制の潮流 ~ アジア(中・韓・台)・日本・欧州・米国を中心に~

(住化分析センター)林まき子氏

3. アクリル酸プラント事故の再発防止の取組

(日本触媒)齊藤 群氏

第2日目・2日(水)10:00~16:30

- 4. 事故事例から考える実験室・作業場の安全 管理
 - (阪大安全衛生管理部)山本 仁氏
- 5. 実験室・作業場における化学物質のリスク アセスメント

(阪大安全衛生管理部)山本 仁氏

6. 実験で紹介する静電気安全対策の基礎

(SL経営)蒲池正之介氏

参加申込締切 5月13日(木)

参加費 共催団体所属会員 32,000 円, 大学官公庁 所属 20,000 円, 学生 8,000 円, 会員外 42,000 円

参加申込方法 詳細は https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen21.html をご参照ください。

申込先 〒 550-0004 大阪市西区靭本町 1-8-4 大 阪科学技術センター6階

日本化学会近畿支部

TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685 E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp